

Panasonic

室内窓

MDNシリーズ

製品紹介と施工説明書の制作意図

パナソニック ライフソリューションズ クリエイツ株式会社

Agenda

- 01** 室内窓とは
- 02** 施工説明書に求められること
- 03** 「見て」わかる説明書を実現するために

Agenda


01 室内窓とは











02 施工説明書に求められること

住建業界の現状

- ・新築住宅着工数の減少、リフォーム市場の拡大
- ・家電量販店ルートなどの新しいルートの登場
- ・施工業者の不足



経験の浅い施工業者の増加

02 施工説明書に求められること

メーカーに求められること

熟練の施工業者、現場経験の浅い施工業者の
どちらが施工しても一定の施工品質を保てる商品



経験差を補うために商品の省施工化を推進



説明書にも経験差を補う工夫が求められる

経験の浅い施工業者

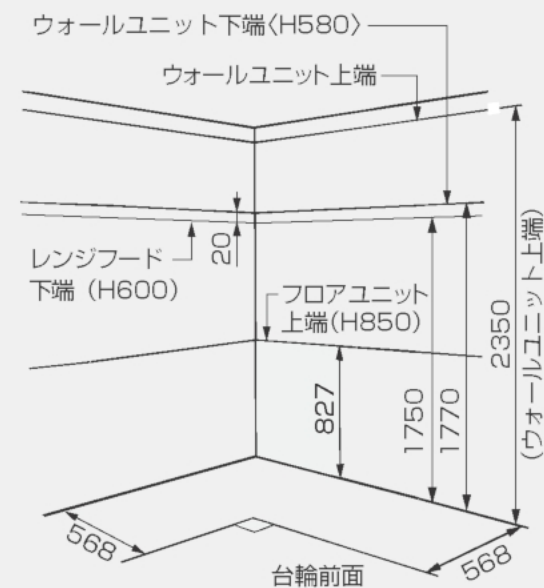
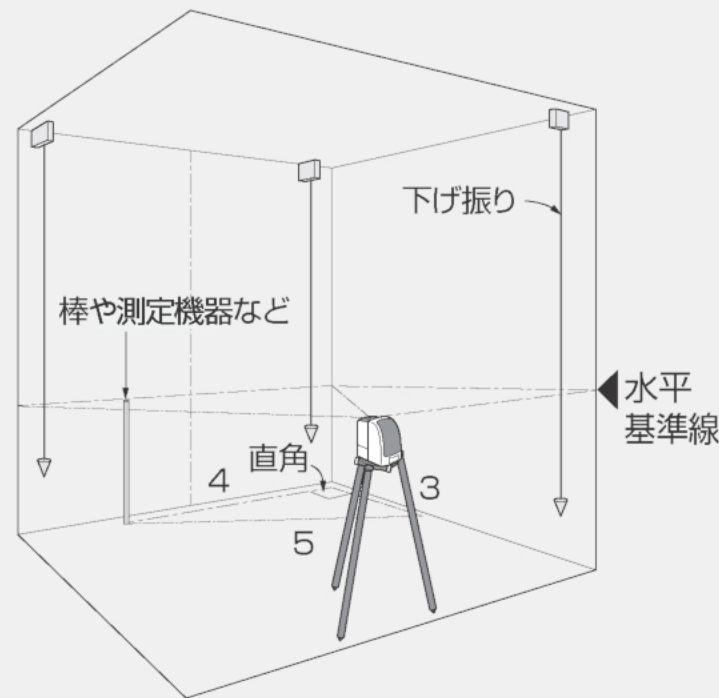
- ・基礎的な工事知識はあるが、施工経験が少ない
- ・詳細な施工手順の記載が必要

02 施工説明書に求められること

経験の浅い施工業者

例. 墨出し

- ① レーザーなどで、各コーナーにポイントを取り、墨壺などを用いて水平基準線を打つ。
この基準線が床面と平行でなければ、床の高い所を基準にして水平基準線を決定してください。
- ② 水平基準線の適切な位置より下記の基準線を求めて、墨を打つ。
(標準モジュール高さ2350 mm、カウンター高さH850 mm、ウォールユニット高さH600 mmの場合)
 - ・床からフロアユニット上端 (827 mm)
 - ・床からウォールユニット上端 (2350 mm)
 - ・ウォールユニットH600 mm (扉を含む) (扉を除く高さはH580 mm) の下端 (1770 mm)
 - ・レンジフード、電動昇降 (H600 mm) の下端 (1750 mm)
- ③ ●レーザーまたは下げ振りで、長手方向の壁面側に逃げ墨を打つ。
(逃げ墨は壁面より任意50~100 mmに打つ。)
同時に壁面のタチなども調べておくことよい。
●上記で打った逃げ墨より直角方向にもう一つ逃げ墨を打つ。
(現場では3 : 4 : 5にて直角度を出してください。)



02 施工説明書に求められること

経験の浅い施工業者

- ・基礎的な工事知識はあるが、施工経験が少ない
- ・詳細な施工手順の記載が必要

熟練の施工業者

- ・詳しい施工説明書を全部読むのは面倒
- ・知りたい情報をすぐに見つけたい

02 施工説明書に求められること

新商品なので丁寧に手順を記載したいが...



知りたい情報に
すぐにたどり着けない

全体像を理解するのに
時間がかかる

02 施工説明書に求められること

段階的に理解を深めていける説明書



全体像を
イメージできる

知りたい情報が
すぐに見つかる



03 「見て」わかる説明書を実現するために

03 見てわかる説明書を実現するために

段階的に理解を深めてもらうために

- ・商品を具体的にイメージしやすくなるような
イラストの表現や配置にする
- ・詳細や補足情報をイラストの近くに配置し
罫線などで情報の区切りが分かりやすいようにする

03 見てわかる説明書を実現するために

STEP1

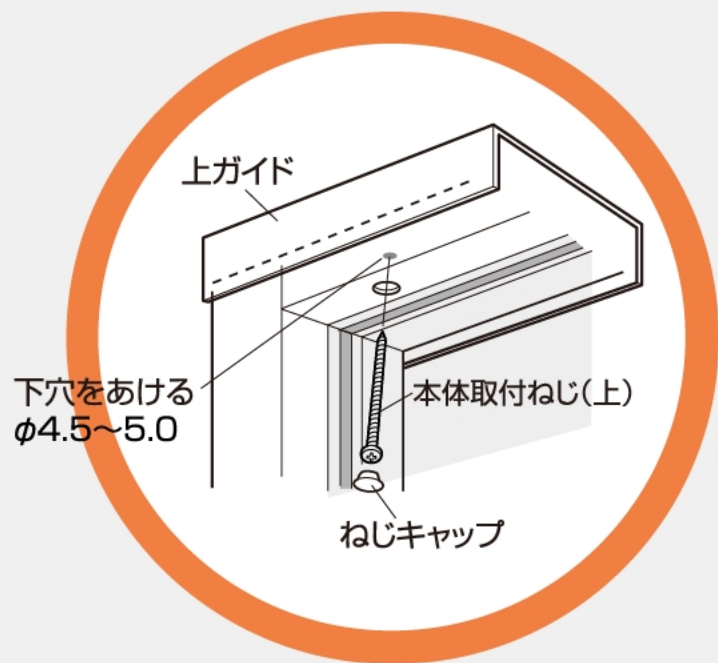
- ・製品の現物で部材構成・施工手順を確認し
必要な情報をピックアップ



03 見てわかる説明書を実現するために

STEP2

- イラスト化する情報、詳細情報、補足情報に分類



タイプ	固定か所	本数・(個数)
1列	2か所	2本(2個)
2列	4か所	4本(4個)
3列	6か所	6本(6個)
4列	8か所	8本(8個)

03 見てわかる説明書を実現するために

課題はバリエーションの多さをどう説明するか



03 見てわかる説明書を実現するために

課題はバリエーションの多さをどう説明するか



FIX



突き出し窓

- FIXは6タイプ
- 突き出し窓は4タイプ
- 1～4列設置可能

03 見てわかる説明書を実現するために

縦軸に
タイプ

			1列	2列	3列	4列
タイプ		本体開口部寸法 オーダー 標準	W 370~536~681 UW 418~584~729	W 682~1066 UW 730~1114	W 1067~1596 UW 1115~1644	W 1597~2126 UW 1645~2174
F I X	10 タイプ	H 309~405 UH 357~453				
	20 タイプ	H 406~778 UH 454~826				
	21 タイプ	H 406~778 UH 454~826				
	30 タイプ	H 779~1151 UH 827~1199				
	31 タイプ	H 779~1151 UH 827~1199				
	32 タイプ	H 779~1151 UH 827~1199				
突 き	10 タイプ	H 309~405 UH 357~453				

横軸に列数

03 見てわかる説明書を実現するために

				1列	2列	3列	4列
タイプ	本体開口部寸法		W 370~536~681	W 682~1066	W 1067~1596	W 1597~2126	
	オーダー	標準	UW 418~584~729	UW 730~1114	UW 1115~1644	UW 1645~2174	
F-X	10タイプ		H 309~405 UH 357~453				
	20タイプ		H 406~778 UH 454~826				
	21タイプ		H 406~778 UH 454~826				
	30タイプ		H 779~1151 UH 827~1199				
	31タイプ		H 779~1151 UH 827~1199				
	32タイプ		H 779~1151 UH 827~1199				
突き	10タイプ		H 309~405 UH 357~453				

イラストで
イメージしやすい

03 見てわかる説明書を実現するために

2 施工手順 ●図は「見切り枠なし」FIX仕様で表記しています

※（見切り枠あり）も同様の手順で行ってください。

※（突き出し型仕様）の場合、本体施工後に「突き出し型」を取り付ける。

3 断面パッキンを貼る（カット必要）

●断面パッキンを本体裏面にカットする
●断面パッキンを取り付ける
●断面パッキンの方向を確認して断面テープをはがして貼る
●もう一方も同様の作業をする

4 本体を開口部にはめ込む

●はめ込み前の確認
●はめ込み時、左右の隙間を均等に
●はめ込み後、左右の隙間を均等に

1 上ガイドを固定する（カット必要）

●カット後、上ガイドを開口部センターに固定する
●上ガイドの下穴（φ45mm）を合わせて固定する

2 下ガイドを固定する（カット必要）

●カット後、下ガイドを開口部センターに固定する
●下ガイドの下穴（φ45mm）を合わせて固定する

7 本体（上部）を固定する

●上ガイドの下穴（φ45mm）を合わせて固定する

5 連結部分を固定する

●連結部分（上部）
●連結部分（下部）

6 本体（下部）を固定する

●本体（下部）の下穴（φ45mm）を合わせて固定する

8 断面パッキンを押し込む

●断面パッキンを押し込む
●断面パッキンがはみ出した場合は、ヘラなどでゆっくゆっく押し込む

9 クロスを巻き込む

●クロスを断面パッキンの内側（2〜3mm）まで貼る
●上側は上ガイド手で、下側は本体までクロスを貼る

10 施工完了

●施工完了後、隙間を生ずる
●（突き出し型仕様）の場合は、※3の作業を行ってください。

別売りの「目地」板材を使用する

●別売りの「目地」板材を使用する
●別売りの「上木口テープ」を使用する

※（見切り枠あり）も同様の手順で行ってください。

※（突き出し型仕様）の場合、本体施工後に「突き出し型」を取り付ける。

03 見てわかる説明書を実現するために

2 施工手順 ● 図は（見切り特なし）FIX仕様で表現しています

※（見切り特あり）も同様の手順で行ってください。

※（突き出し型仕様）の場合、本体施工後に「突き出し型」を取り付ける。

3 壁面パッキンを貼る（カット必要）

● 壁面パッキンを本体高さにカットする
壁面パッキンを壁面に押し込んで固定する

● 壁面パッキンの方向を調整して両面テープをはがして貼る

● もう一方も同様の作業をする

1 上ガイドを固定する（カット必要）

● カット後、上ガイドを開口部センターに固定する
※カット可能（構造用ワンタッチ型）

上ガイド取付厚D	上ガイド取付幅W	開口部幅	開口部高さ	上ガイド取付厚D	上ガイド取付幅W
18	40mm	48	48	28	40mm
28	40mm	58	58	38	40mm
38	40mm	68	68	48	40mm

※開口部幅が大きい場合は、上ガイドの取付に調整が必要になります。

7 本体（上側）を固定する

● 上ガイドに下穴（φ4.5〜φ5.0）をあけて固定する
※調整によるずれに注意してください。

上ガイド取付厚D	上ガイド取付幅W	開口部幅	開口部高さ	上ガイド取付厚D	上ガイド取付幅W
18	40mm	48	48	28	40mm
28	40mm	58	58	38	40mm
38	40mm	68	68	48	40mm

8 壁面パッキンを押し込む

● 壁面パッキンをはみ出した場合は、ヘラなどでゆっくゆっく押し込む

※壁面パッキンは調整材です。ヘラなどで調整する部分で、ずれや変形がないよう注意して作業してください。

4 本体を開口部にはめ込む

■ はめ込み方法

● 手裏に近づけて、本体を上下ガイドにはめ込む

● 手裏に近づけて、本体を左右ガイドにはめ込む

● 本体下部に隙間がないことを確認する

2 下ガイドを固定する（カット必要）

● カット後、下ガイドを開口部センターに固定する
※カット可能（構造用ワンタッチ型）

下ガイド取付厚D	下ガイド取付幅W	開口部幅	開口部高さ	下ガイド取付厚D	下ガイド取付幅W
18	40mm	48	48	28	40mm
28	40mm	58	58	38	40mm
38	40mm	68	68	48	40mm

5 連結部分を固定する

■ 連結部分（上部）

● 本体連結ねじ、ねじキャップ、本体連結ねじ

■ 連結部分（下部）

● 本体連結ねじ、ねじキャップ、本体連結ねじ

● 連結しない壁面が穴にねじキャップを取り付ける（左右の壁への穴は調整は不要）

ねじキャップ	本体連結ねじ	ねじキャップ	本体連結ねじ
φ4.5×25mm	φ4.5×25mm	φ4.5×25mm	φ4.5×25mm

9 クロスを巻き込む

● クロスを壁面パッキンの内側（2〜3mm）まで貼る

● 上側は上ガイドまで、下側は本体までクロスを貼る

※壁の下がけがある場合は、シーリング材（両面接着テープ）を貼ってください。

6 本体（下側）を固定する

● 本体は必ず（下側）より固定する
※本体と開口部に隙間ができません。

下ガイド取付厚D	下ガイド取付幅W	開口部幅	開口部高さ	下ガイド取付厚D	下ガイド取付幅W
18	40mm	48	48	28	40mm
28	40mm	58	58	38	40mm
38	40mm	68	68	48	40mm

10 施工完了

● 施工完了後、製品を生産する

※（突き出し型仕様）の場合は、※3の作業を行ってください。

仕切りボルト

● 別売りの「目地」板材を使用する

● 別売りの「上木口テープ」を使用する

● 別売りの「下木口テープ」を使用する

03 見てわかる説明書を実現するために

2 施工手順 ● 図は（見切り枠なし）FIX仕様で表現しています

※（見切り枠あり）も
同様の手順で行ってください。

3 壁面/パッキンを貼る （カット必要）



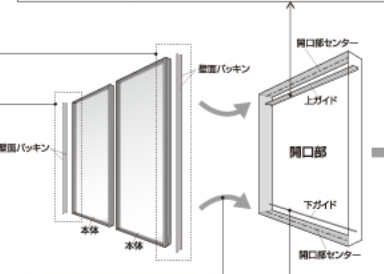
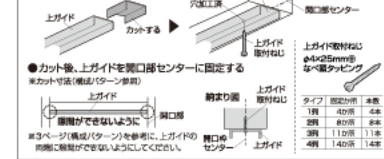
- 壁面/パッキンを本体高さにカットする
両面テープを本体に貼る
- 壁面/パッキンの方向を確認して
両面テープをははして貼る
- もう一方も
同様の作業をする

4 本体を開口部にはめ込む

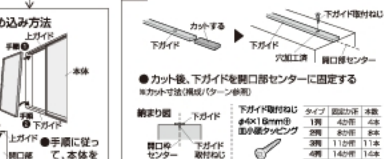


- はめ込み方法
- はめ込む前の確認
※本体上部のツベルシを必ず
手動で押し込みになる
ようにしてください。
※突き出し側の向き
やガラスの向き（げつ
ず道）の向きが正しい
ことを確認してください。
- はめ込み時、左右
の隙間を均等に
にする
※目録の本編に必ず
必ず左右の隙間が均等
にしてください。

1 上ガイドを固定する（カット必要）

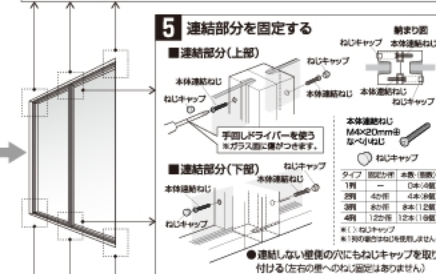
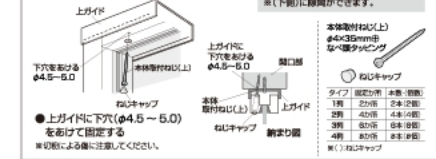


2 下ガイドを固定する（カット必要）



- 左右の
隙間が
気になると
目地材
- 別売りの「目地 板材」を使用する
※厚さ1〜10mmまで 別売可
（固定テープ付き 別 販売小冊）
※固定テープの厚さは 0.4〜1.0mm
を要する
- 品番：MONTBO10□
（L=1200mm 4本入り、両側テープ付）
※Lは色別で異なります。
※品名はカタログでご確認ください。

7 本体（上側）を固定する



6 本体（下側）を固定する

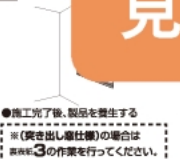


- 吹き抜けなど
見切り枠が
上から
見える時
- 別売りの「上木口テープ」を使用する
※固定テープ仕様・両面テープ
品番：MJE18V1□
※Lは色別で異なります。
※品名はカタログでご確認ください。

8 壁面/パッキンを押し込む



9 クロスを巻き込む



- 施工完了後、製品を養生する
※（突き出し仕様）の場合は、
※※の作業を行ってください。

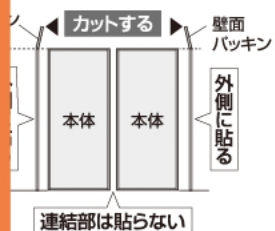
10 施工完了

情報を段階的に
見ることができる

03 見てわかる説明書を実現するために

※(見切り枠あり)も同様の手順で行ってください。

壁面パッキンを貼る(カット必要)



壁面パッキンを本体高さにカットする

テープを満部分の汚れ、油分を十分に除去する

壁面パッキンの方向を確認してテープをはがして貼る

一方も同様の作業をする



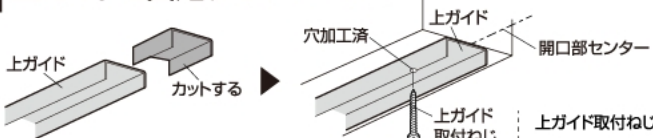
本体を開口部にはめ込む

はめ込み前の確認

■はめ込み方法

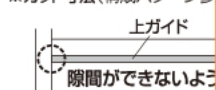


1 上ガイドを固定する(カット必要)



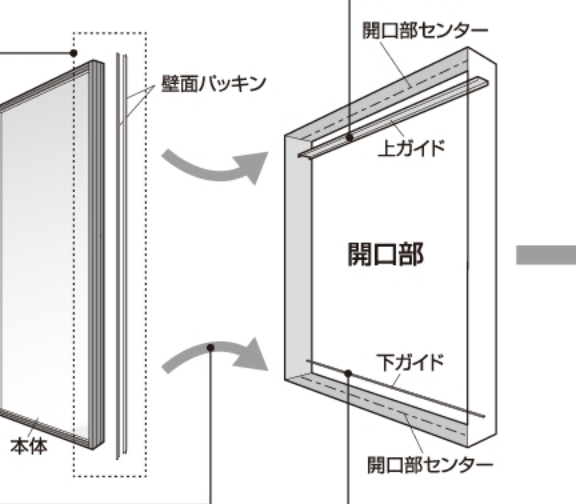
●カット後、上ガイドを開口部センターに固定する

※カット寸法(構成パターン参照)

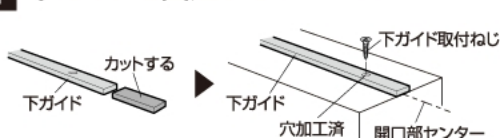


※3ページ(構成パターン)を両端に隙間ができないよう

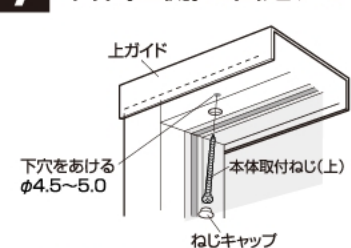
テキストサイズや太さの使い分け



2 下ガイドを固定する(カット必要)



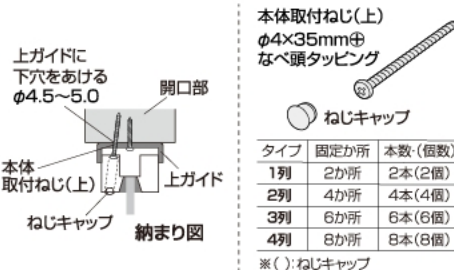
7 本体(上側)を固定する



●上ガイドに下穴(φ4.5~5.0)をあけて固定する

※切粉による傷に注意してください。

重要 ねじをもみ込みすぎないようにする
※(下側)に隙間ができます。



本体取付ねじ(上)
φ4×35mmφ
なべ頭タッピング

ねじキャップ

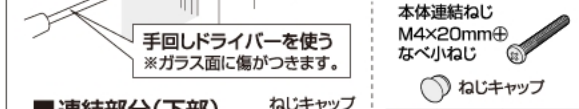
タイプ	固定か所	本数(個数)
1列	2か所	2本(2個)
2列	4か所	4本(4個)
3列	6か所	6本(6個)
4列	8か所	8本(8個)

※()：ねじキャップ

5 連結部分を固定する



●連結しない壁側の穴を付ける(左右の壁への)



●連結しない壁側の穴を付ける(左右の壁への)

6 本体(下側)を固定する



重要 本体は必ず(下側)より固定する
※本体と開口部に隙間ができます。

本体取付ねじ(下)
φ4×25mmφ
なべ頭タッピング

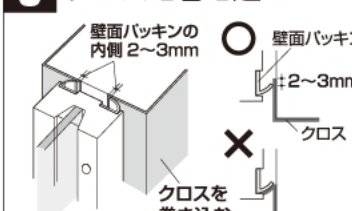
8 壁面パッキンを押し込む



●6,7施工完了後、壁面パッキンがはみ出した場合は、ヘラなどでゆっくり押し込む

※壁面パッキンは軟質材です。ヘラなど鋭利な部分で、破れや傷が付かないようにしてください。また、クロスや枠にも傷がつかないようにしてください。

9 クロスを巻き込む



●クロスを壁面パッキンの内側

イラストの線幅やアミの濃淡

10 施工完了



室内窓

MDNシリーズ

パナソニック ライフソリューションズ クリエイティブ株式会社
デジタルソリューションセンター 取説グループ